



▲デザイン性を追求したショールーム



▲ショールームに取り付けた室内窓

夢工房（神奈川県横浜市）は5月、2つ目のリフォーム「Bridge Side（ブリッジサイド）」をオープンした。空室だった1フロア約40平米をリノベ。一番の特徴はデザイン性を意識したことだ。モルタルテクスとタイルを施したキッチンや、壁上にユーザーからの要望が増えている室内窓をつけて、天井にも無垢材を張った。建材

はすべて自然素材で、床は無垢材。奈良県産の杉や、ナラ、クルミなどを多用した。壁は神奈川県産の珪藻土を塗った。

「1つ目のショールームは自然素材のアピール、今回は室内窓や天井に木を張るなど女性だけでデザイン性を意識しました」（高野潤社長）

夢工房（神奈川県横浜市）は5月、2つ目のリフォーム「Bridge Side（ブリッジサイド）」をオープンした。

夢工房

デザイン注力のSRオープン

2店舗で3億円超へ



高野潤社長

入ると目の前にオフィスが見え、社員の顔や雰囲気を近くで感じられる。「新ショールームでデザインや社員の雰囲気を感じてもらい、すぐに徒歩

5分の場所にある1つ目のショールームへ同行すれば、自然素材とデザインを知つてもらいます」

以前のショールームはフリースペースとして貸し出すことも多かった。「ベビーマッサージ教室など地域のコミュニティの場として生かせていた」。だがその結果、平日の半分は埋まってしまい商談ができなかつた。

今期は、前期比38%増の売上高3億3000万円を目指す。「このショールームがその一役を担つてほしいです」